

計画の実施 (Do)

総排水量の削減取組

メーター



水道メーター

洗濯機



洗濯機使用ルール

雑巾



雑巾も管理

- 水道メーターをチェックし、水使用量の数値を、毎月の会議で検討している。
- 洗濯機の使用ルールを細かく改訂した。
- 洗濯の回数を決め、少量の洗濯をやめて、まとめ洗いを行っている。

廃タイヤ回収量の増加取組

関連情報



GPS無線を活用

在庫管理



石鹼、洗剤類ストック

整理整頓



書類類の仕分け

- 効率よく廃タイヤ回収するために、GPSの位置情報及び、スマートフォンのクラウドサービス活用を進化させ、各部署超えた連携で回収効率が上がりました。
- 清潔を意識し、社員の身だしなみを整え、イメージアップを得る。

7. 環境経営目標及び環境経営計画の実績・取組結果とその評価、並びに今後の取組

(1) 環境経営目標の実績

- 2022年度（38期）の環境経営目標達成状況は以下のとおりであり、設定した4項目6目標のうち、3項目5目標で達成出来ました。
- 総排水量以外の項目は全て達成出来ました。総排水量については大口の片付け仕事が入、洗車や構内の清掃が増えたことと、工場内の冷却設備に使う水の量（ミスト）が増えたことが要因です。

環境経営目標	単位	基準年	38期（2022年度）		目標達成率	目標達成判定
		37期実績値 （2021年度）	（2021/10～2022/9）			
			目標	実績		
1.二酸化炭素排出量の削減	kg-CO ₂	401,968	314,921	271,548	116%	○
(1) 電気使用量の削減 (破碎機1基増設分をコントロール)	kWh	236,656	252,000	247,871	102%	○
(2) 軽油使用量の削減 (基準年実績より3%削減)	ℓ	123,909	120,000	105,251	114%	○
2.一般廃棄物（可燃ごみ）排出量の削減 (基準年実績より4%削減)	kg	2,500	2,400	2,390	100%	○
3.総排水量の削減 (漏水分を除いた水使用量を維持)	m ³	918	600	677	89%	△
4.廃タイヤ回収量の増加 (基準年実績を維持)	t	10,446	10,237	10,992	107%	○

(備考) ・目標達成率の計算方法 削減目標：目標÷実績×100、増加目標：実績÷目標×100
 ・目標達成の判定区分 ◎：目標達成率120%以上、○：100%以上120%未満、△：80%以上100%未満
 ×：80%未満、-：判定不可

取組状況の確認及び評価 (Check)

(2) 環境経営計画の取組結果とその評価

- 2022年度(38期)の環境への取組結果は以下のとおりであり、各環境経営目標の全活動項目で適切に実施することが出来ました。しかし、目標と取組との関係から目標未達成項目もみられることから、今後も全社員で取組を継続していきます。

1. 二酸化炭素排出量の削減 (基準年実績を維持)

取組目標		目標達成状況	活動項目	取組実施状況
(1)	電気使用量の削減	○	① 室温を決めてエアコンで調節する	○
			② 使用しない電灯・電源は消す	○
			③ デマンド警報 130kW以内での操業	○
			④ 作業の効率化 (朝礼時に作業工程確認)	○
(2)	軽油使用量の削減	○	① エコドライブの徹底	○
			② 定期点検整備の実施	○
			③ タイヤの空気圧を定期的に確認	○
			④ 収集経路の効率化 (ミーティング時に確認)	○

備考) 目標達成状況区分 ○: 目標達成率120%以上、○: 100%以上120%未満、△: 80%以上100%未満、×: 80%未満、-: 判定不可

取組実施状況区分 ◎: よく実施できている(定着) ○: 実施できている、△: 概ね実施できている、×: 実施出来ていない、-: 判定不可

2. 一般廃棄物(可燃ゴミ)排出量の削減 (基準年実績を維持)

取組目標		目標達成状況	活動項目	取組実施状況
(1)	可燃ゴミ排出量の削減	○	① リサイクル可能な紙やペットボトルの分別を徹底し、指定ゴミ袋の発生量をチェック	○

3. 総排水量の削減 (基準年実績の維持)

取組目標		目標達成状況	活動項目	取組実施状況
(1)	総排水量の削減	△	① 洗濯機の利用を管理	○
			② 散水・ミストの管理	○

4. 廃タイヤ回収量の増加 (基準年実績値を維持)

取組目標		目標達成状況	活動項目	取組実施状況
(1)	廃タイヤ回収量の増加	○	① 回収本数・走行キロ・通行料の集計(効率アップ)	○
			② 中間処理施設のメンテナンスの徹底・強化(タイヤチップの品質向上・安定)	○

取組状況の確認及び評価 (Check)

(3) 今後の取組

- ・一昨年から取り組んでいる「効率アップ」は作業手順の見直しや、新しい機器の導入で効果を上げてきましたが、38期は2名の新しい人材の加入により大きく進化することができました。39期も人材募集を続けながら、規模拡大の中での効率アップを目指します。
- ・新しいホームページが、まもなく公開されます。私たちが進化していく姿を発信していけるツールとして期待しています。
- ・38期の一番の成果は四半期ごとに見直しをしてPDCAを回す形ができたことです。私たちの仕事を進化させ、効率を上げながら本業の規模を拡大していくことを念頭に置いて39期の環境経営目標を以下のとおり策定しました。また、環境経営計画は本年度の取組内容を引き続き継続することとしました。

2023年度（39期）の環境経営目標

環境経営目標	単位	基準年	単年度目標	中長期目標	
		38期実績値 (2022年度)	39期 (2023年度)	40期 (2024年度)	41期 (2025年度)
		2021/10~ 2022/9	2022/10~ 2023/9	2023/10~ 2024/9	2024/10~ 2025/9
1.二酸化炭素排出量の削減	kg-CO2	271,548	245,100	245,100	245,100
(1)電気使用量の削減 (基準年実績を維持)	kWh	247,871	252,000	252,000	252,000
(2)軽油使用量の削減 (基準年実績を維持)	ℓ	105,251	95,000	95,000	95,000
2.一般廃棄物（可燃ごみ）排出量の削減 (基準年実績を維持)	kg	2,390	2,400	2,400	2,400
3.総排水量の削減 (漏水分を除いた水使用量を維持)	m ³	677	600	600	600
4.廃タイヤ回収量の増加 (基準年実績を維持)	t	10,992	11,000	11,000	11,000

備考）・電力の二酸化炭素排出係数は、38期より新電力の会社と契約し排出係数0となった。
 ・可燃物の排出量は、指定ごみ袋（燃えるごみ袋）1個を10kgとして計算した。
 ・化学物質は使用していないので、目標から除外した。

8.環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟の有無

- ・当社に適用される主な環境関連法規等は以下のとおりであり、38期（2022年度）の事業活動において遵守状況を確認した結果、違反はありませんでした。
- ・また、関係機関等からの違反の指摘、利害関係者からの訴訟等も過去3年間ありませんでした。

法規等の名称		主な遵守事項	遵守結果
1	廃棄物処理法	<ul style="list-style-type: none"> ・収集・運搬基準 ・マニフェストの交付・管理 ・産業廃棄物処理施設の維持管理 ・処理実績の報告 	○
2	消防法	<ul style="list-style-type: none"> ・少量危険物貯蔵・取扱の届出書提出 	○
3	地球温暖化対策推進法	<ul style="list-style-type: none"> ・温室効果ガスの排出抑制措置 	○
4	グリーン購入法	<ul style="list-style-type: none"> ・環境物品等の購入に努める 	○

備考) 遵守結果区分 ○：遵守 ×：不遵守 -：該当なし

全体の評価と見直し (Act)

9.代表者による全体評価と見直しの結果

＜環境活動の実施と数値目標の達成状況＞

委員会の形が整ってきたように思います。会議での発言やデータの報告も定型化されてきています。

実務に沿った目標設定と管理ができてきました。達成状況も概ね問題ないと思います。継続する仕組みは整ってきてますが、新たな気付き、課題の発見ができる仕掛けを委員会を中心に考えてみてください。

＜環境経営方針・環境経営システム＞

委員会の役割分担は良くなりました。それぞれが責任をもって実施、管理をしてくれていると思います。

全社員に対しての取り組みへの理解や報告などは改善の余地がありそうです。資料共有など「見える化」は進んできていますが、見えるものを見る機会や場面を工夫すればより全社員への浸透度は高まると思います。

石炭代替としての注目度が高まり、タイヤチップ利用先からの問い合わせが増加しています。外部への発信にも力をいれましょう。

石炭代替としての注目の高まりと同時にタイヤチップの要求スペックにも変化がおきています。今後もタイヤチップ利用先の状況を捉えながら設備投資、変更は続いていきます。必要な許可、資格の取得はもちろん、設備が増設されても効率的で環境負荷の少ない運営を心掛けてください。

「効率的」とはどんな状態なのかの基準合わせが目標達成には欠かせないです。

引き続き丁寧に全社員で基準合わせを行ってください。



代表取締役 白井 文平